

ブリの2月採卵における日長制御方法の改良

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 日本栽培漁業協会 公開日: 2025-04-24 キーワード: 作成者: 今泉, 均, 堀田, 卓朗, 河野, 一利, 山崎, 哲男 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014533

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



ブリの2月採卵における日長制御方法の改良

今泉 均・堀田卓朗・河野一利・山崎哲男

2000年、2001年のブリの早期採卵試験により、従来の方法による日長制御期間の1カ月間の短縮を試みた。12月から2カ月間の長日処理(18L:6D)を行い、下限水温を17~19℃に制御し、さらにホルモン(HCG 600IU/体重kg)注射による産卵誘発を行った結果、2月中に1水槽(雌親魚11~12尾)当たり200万粒以上の受精卵が得られた。また、成熟に伴う摂餌量の減少傾向を把握することで、産卵誘発適期の推定が可能であることが示唆された。

栽培技研, 30(1), 1-6, 2002